



サケの回遊経路

3～5月頃宮城県で放流されたサケの稚魚は、初夏までに日本沿岸を離れ、オホーツク海で頃まで暮らします(①)。その後、北太平洋に移動して最初の冬を越し(②)、さらに6月頃にはベーリング海へ移動して、以前に放流された年上のサケ達と合流します(③)。子どものサケは、冬になると南下してアラスカ湾で春まで過ごし、夏になるとまたベーリング海に移動します(④)。この季節による南北移動を数年繰り返し、大人になると生まれ故郷である日本の川を目指して再び旅立ちます(⑤)。